

事務事業評価表（建設事業等）

評価対象年度	令和 元 年度
1次評価日（主幹等）	2年3月31日
2次評価日（課長等）	2年3月31日

1 事業名	湖周地区ごみ処理施設整備事業			コード	11211	
2 担当部課	部等	市民環境部	課等	市民環境課	作成者	吉田 和正
3 事業概要	目的体系	基本目標	安全・安心で、自然環境と共生するまち			
		政策	環境保全の推進	施策	生活環境対策の推進	
		予算科目	湖周地区ごみ処理施設費	業務委託	なし（直営）	
		実施義務	なし（選択的事業）	国県補助	あり	

●事業の実施内容（D0）

4 事業の概要等		* 対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）			
事業の概要 （簡潔に）	湖周地区（岡谷市、諏訪市、下諏訪町）から排出される一般廃棄物を、広域的に共同で処理を行う。				
目的	対象者	湖周地区（岡谷市、諏訪市、下諏訪町）の住民。			
	意図	環境負荷の低減と循環型社会の構築を目指す。			
5 事業の必要性		* 事業を計画した当時、この事業が必要になった状況・理由			
大量生産・大量廃棄型の社会から3Rを推進し、循環型社会の形成に向けて、ごみを適正に処理することが必要になり、住民、事業者、行政が連携して広域的に取り組むことが求められた。					
6 事業の全体計画		* 各年度の取組計画			
予定全体事業費	2,246,239,000	円	事業期間	H23年度～R3年度	
元年度	最終処分場建設に向け、下流域の辰野町と十分な話し合い、勉強会の機会を設け、環境影響調査等の事前調査への着手も検討する。				
2年度以降	最終処分場建設にあたり、事前調査を含む事業推進に向けて、反対同盟会・辰野町との懇談会、対話を重ね、理解が深まるよう粘り強い対応を図る。				
7 事業の実施内容		* 各年度の進捗状況			
元年度	・2市1町のごみの排出方法の統一に向けての検討を実施した。 ・湖周議員と先進地処分場の視察を行った。				
前年度の課題への対応	辰野町に十分な話し合いの機会を設けてもらい、安全性など理解を深めていただく。				

8 コストの推移

* この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）

[単位：円]

区分	29年度まで(累計)	30年度	元年度	2年度(予算)
① 直接事業費	916,270,671	100,221,325	164,940,771	255,832,000
経常経費	916,270,671	100,221,325	164,940,771	255,832,000
臨時的経費				
* 臨時的経費の説明	負担金（運営費、事務費、建設費、基金、公債費、共同事業費）			
② 人件費		3,600,000	3,600,000	3,600,000
正規職員の人数（人）		0.45	0.45	0.45
③ 合計コスト（①+②）	916,270,671	103,821,325	168,540,771	259,432,000
前年度比			162.3%	153.9%
財源				
一般財源	569,991,669	66,615,965	132,611,505	219,770,000
内訳				
特定財源	346,279,002	37,205,360	35,929,266	39,662,000
* 特定財源の説明	廃棄物処理手数料			

●事業の評価（CHECK）

9 事業の進捗状況

区分	29年度まで(累計)	30年度	元年度	2年度(予算)
進捗率				
直接事業費の執行率	40.8%	45.3%	52.6%	
その他の進捗率				
* その他の進捗率の説明				

事業をとりまく環境変化	今まで	<p>(これまでに生じた政治・経済・文化などの状況変化のうち、この事業に影響があったこと)</p> <p>・最終処分場建設阻止期成同盟会により、建設白紙撤回を求められており、何もできない状況が続いていたが、県、識見者を交えた勉強会や意見交換会を重ねる中で、地下水流動等の事前調査の着手について同意を得ることができた。</p>
	今後	<p>(2年度以降に予測される政治・経済・文化などの状況変化のうち、この事業の進行・完了に影響すると思われること)</p> <p>・2年度は、最終処分場建設による水源への影響や処理水の漏水などを特に不安視していることから、建設予定地周辺の地層地質、地下水等の調査を実施する。 調査が終われば直ちに建設に進むわけではないが、今まで調査は一切認めないという立場であったことから考えると、膠着状態が打開されたと考えられる。</p>

●改善の内容（ACTION）

10 今後の課題と対応策

今後の課題	<p>(環境変化を考慮して事業を進めていく上で、2年度以降に課題になること)</p> <p>最終処分場の建設にあたり、下流域にあたる辰野町住民の理解を得ること。</p>
課題への対応策	<p>(上記の課題をふまえて2年度に実施する、具体的な対応方法)</p> <p>辰野町に十分な話し合いの機会を設けてもらい、安全性など理解を深めていただく。</p>

●次年度の計画（PLAN）

11 次年度の方針	継続して実施	12 施策評価による2年度の優先度 *H30年度施策評価表より転記すること	A
-----------	--------	--	---